謹啓　〇〇の候　〇〇先生におかれましては、ご健勝にて愈々為法ご精進のこととお喜び申し上げます。このたびは、ご多忙な折にもかかわらず、拙寺永代経の御講師をお願いいたしましたところご快諾賜り、誠にありがとうございました。

つきましては、左記の通り勤修いたしますので、御出講いただき、御教導たまわりますよう、あらためてお願い申し上げます。

　なにぶん住職の不徳の致すところで充分な教化もいたらぬことでありますが、御門徒ともども、御聴聞させていただきたいと願っております。どうぞお気をつけておこしくださいませ。

　末筆になりますが、お体お大事にお過ごしください。当日お会いするのを楽しみにしております。

合　掌

二〇二●年〇〇月〇〇日

〇〇山　〇〇寺住　職 〇〇　〇〇

〇〇 〇〇 先生

記

**法　要 〇〇寺　春季永代経 兼 婦人会物故者追弔会**

**日　時** 二〇二●年〇〇月〇〇日（●）〜〇〇日（●）

〇〇日 午後１時より お勤め・法話２席

午後７時より お勤め・法話１席

〇〇日 午後１時より お勤め・法話２席

〇〇日は昼食をご用意いたしますので、正午までにお越しください。

以　上